

平成8年度賀詞交歓会行なわれる

総務委員会

平成8年1月12日に恒例の東北地質調査業協会主催『平成8年度賀詞交歓会』が仙台市のホテル白萩において行なわれました。

当日は建設省東北地方建設局の田崎忠行企画部長が来賓で出席され、久し振りに緊張のある賀詞交歓会となりました。

協会の出席は、永井理事長をはじめ、各社の社長、支社長、支店長、営業所長のほか建設省、農水省のOBの方々積極的に参加をいただき、総勢92名の過去最高の出席による賀詞交歓会となりました。

各地域の参加者の内訳は、

青	森	6名	宮	城	62名	来	賓	1名	
秋	田	3名	山	形	9名	事	務	局	1名
岩	手	5名	福	島	5名	総	勢	92名	

交歓会は、斉藤総務委員長の開会のことばで始まり、永井理事長の挨拶、田崎企画部長のご挨拶と進行し、藤島副理事長の発声による乾杯が行なわれ宴会となりました。

永井理事長からは、全地連主催技術フォーラム'96が今年9月12日～14日に仙台で開催されることや、建設大学跡地に全地連の研究施設の構想があること、地質調査業全体では事業量が伸びてきていて少し明るい見通しがあるなどの挨拶がありました。

田崎企画部長は、日頃の建設行政で基礎的分野でいろいろと協力をいただいている。

発注の形態が変化してきており、企業努力を行って技術力を高めていかないと受注活動にも厳しい情勢になってきていることを認識する必要があるなどのご挨拶がありました。

会員各社とも社長、支店長、営業所長のほかに営業責任者の参加も多く、厳しい平成8年度の船出を、頑張っって乗り切ろうとの意気込みが伺え、会場一杯に熱気が漂い勢いのある賀詞交歓会となりました。

宴席は和やかなうちに、辻厚生委員長の音頭でお開きとなりました。

協会各社のご活躍をお祈りし、賀詞交歓会の報告といたします。

